

31st 北高祭行灯行列



～語り継がれし
伝説の軌跡～

行燈行列

第0回 3年3組『走馬灯』



北高行燈の歴史の幕開け。
ここから全てが始まった。
この年は行燈をかついで回り
はしなかったので、「行燈行列」には
入らない。

第1回 3年1組『平清盛』



平家の繁栄を一手に担った平清
盛公が、記念すべき行灯行列第
一回の大賞。
無敵素敵な作品だった。

第2回 3年1組 題名不明



人が乗ったユニークな行灯。
宝船に乗った七福神がテーマ。

第3回 不明

情報提供お待ちしております。
この年の資料がぜんぜん見つか
りません…

第4回 3年4組『連獅子』



非常に大きい作品である。
10日で人二体を作ったとは相当
な労力があつただろう。
※この頃は作業期間が約10日。

第5回 3年8組『龍虎對峙圖』



龍と虎が睨み合っている。
迫力満点の構図である。

第6回 3年9組『八岐大蛇』



剣を振りかざすスサノオノミコト。
その目に映るは、迫り来る大蛇の
頭…。

第7回 2年10組『龍虎』



過去30年の歴史の中で、唯一の
2年生の大賞。
龍と虎が直立しており、その固定
の技術は相当なものであつただ
ろうと思われる。

第8回 3年3組『龍と武者』



龍のうろこが精緻に作られている。
職人たちの努力の跡がうかがえ
る。

第9回 3年10組『投網』



武士が網を投げて鯛を捕まえてい
る。本物の網が使われているところが
ポイント。般若の髪の毛など、
変わった素材を有効活用するクラ
スが上位層を占めているようだ。

第10回 3年1組『船弁慶』



顔を見てわかるとおり、墨入れの
技術が素晴らしい。
白く見開かれたその両眼が迫力
を増している。

第11回 3年9組『火の鳥』



ご存知、手塚治山さんの「火の
鳥」。
題材がとても斬新。
非常によい出来だった。

第12回 3年10組『キリンジ』



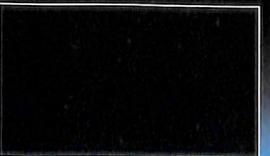
中国の伝説の生き物、麒麟。
偉大な賢者の前に現れると言わ
れる。
麒麟ビールのラベルにも起用さ
れている。

第13回 3年5組『怒るとコワ~イ般若』



髪の毛がすずらんテープ(?)で
出来ている。
はかまの金色の模様が気になる。

第14回 不明



情報提供お待ちしております。
この年もいろいろ調べましたが出
きませんでした。

第15回 3年8組『曾我吾郎』



その手に持つのは、血に染まっ
た己の右腕。
鬼気迫る吾郎の姿は、見るもの
を圧倒する。

大賞の歴史

第16回 3年5組『曾我吾郎時政』



前年に引き続き、大賞は曾我吾郎。

第17回 3年2組『甲斐之虎武田信玄』



秘伝書「裏マニュアル」を作成した
伝説の職人の作。
「風林火山」で有名な、信玄公であ
る。

第18回 3年10組『魁傑』



弓矢を持っている。
細くて長い弓矢は難度が高いと
思われるが、良く作られている。
この年より行灯の規格が制限さ
れる。

第19回 3年9組『川中島大合戦八幡原直線画』



上杉謙信公と武田信玄公の一騎
打ちで有名な、川中島の戦い。

第20回 3年8組『碓氷定光～双頭毒大蛇退治～』



非常に迫力のある構図。
この構図は、後に第25回大賞等
にも採用されている。

第21回 3年1組『弁慶』



刀を持ち、悠然と構える弁慶。
かの有名な「飛び六方」のシ
ーンだろうか。

第22回 3年10組『竹崎李長～博多島』



蒙古襲来の際活躍した、竹崎李長。
中学時代の教科書には必ずと
いっていいほどのっている。

第24回 3年9組『明智光秀』



歴史上では悪役とされている、明
智光秀をモチーフとした、珍しい
作品。

第25回 3年1組『対神演義「蓮華精柳手」東海竜王敦光を討つ』



北高史上一、二を争う完成度を
誇る。
構図、模様の細かさ、電飾、どれを
とっても文句なしの逸品。
本パンフレット裏表紙にも登場。

第26回 3年5組『水滸伝地獄廻り』



とにかく大きい。
使える幅の限界まで使った感じ
の行灯である。
青と赤の対比が印象的。

第27回 3年7組『大蛸退治』



行灯としては珍しく、蛸が登場し
ている。
この透かしの技術は、今までに類
を見ない。

第28回 3年10組『降魔』



左手の玉が恐ろしいまでの光を
放つ。

第29回 3年6組『土蜘蛛死ス』



燃え盛る炎のような模様が目を
奪う。
この蜘蛛の色塗りは圧巻である。

第30回 3年4組『洛水の女神』



昨年度の大賞。
女神の右手はあまりに素晴らしく、
『伝説の右手』として語り草とな
っている。

第31回



そして、時は現在へ。
今年の栄光はどのクラスへ…?

色塗り・模様

の進歩



色塗～初期

行灯に模様としてはじめ使われていたのは、縞や水玉模様などでした。1970年代では白い紙を貼ってその上に基調の色、その上に模様を書くということが多かったようです。



色塗～中期

1980～1990年代には青海波や雷門、千鳥格子などの模様が登場し始めました。紙に蟻も塗り始め、紙塗りの本格的技術革新へつながっていました。



色塗～現在

現在ではグラデーション、透かしなどさまざまな方法で羽、炎、動物の体など非常に幻想的に彩られています。電飾を見越した紙塗りをすることで、美しい行灯が次々に誕生しています。



【規格】

最初の行燈ファイヤーの時には現在のような土台の長さの規定等ではなく、組み方自体が自由でした。規格が厳しくなったのは第3回行灯祭からで、道路交通法に基づくものだそうです。



【テント】

初めは木材とシートを使って自己製作していました。形も様々作られテントを立てる技術にも学年によって差がありました。



【針金】

行灯祭が始まったばかりの頃、紙貼りのための格子作りに針金のほかに竹が利用されました。



【髪】

行灯の頭部は髪の毛や兜で覆われていますが(素肌もあります)、髪にスズランテープや紙をたらして使用していましたそうです。



【紙】

紙はロール紙のほか、ビニール、ダンボールなどを部位によって使い分け電飾の効果として使っていました。

『龍や虎を作ればいい賞が取られる』といったマンネリ化状態が訪れ、その時期に色塗りや、針金の技術が競争によって高められました。そして今、より美しく・力強い行灯を目指し、より素晴らしい行灯が作られていくことしています。

北高行灯の歴史

行灯の題材ははじめばらばでした。武士であったり飛行機であったり様々な行灯が作られてきました。ある時期、

『龍や虎を作ればいい賞が取られる』といったマンネリ化状態が訪れ、その時期に色塗りや、針金の技術が競争によって高められました。そして今、より美しく・力強い行灯を目指し、より素晴らしい行灯が作られていくことになります。



行灯秘話



丁 中



【髪】

インターネットが普及し始め、本場ねぶたの髪の作り方が知れ渡り、紙を使用した墨入れによる髪の表現が使われるようになった。

【紙】

現在紙は基本的なロール紙以外に、すかしの入るものや、京都の高級紙を使用するクラスもあるそうです。



行灯行列の由来

1976年、当時の生徒会が『何かみんなで打ち込めるものを作ろう』・『夜まで学校祭を楽しんでもらおう』としてはじめたのが由来だそうです。それに伴って『ファイヤーストーム行燈ラクール』を企画して、そうです。

行灯行列の軌跡

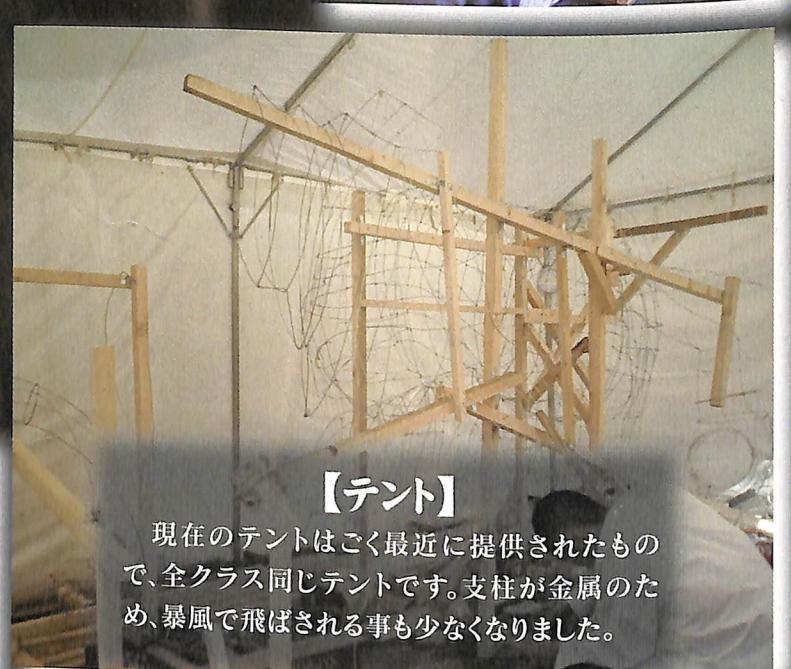


【針金】

針金は紙貼りの基礎になる部分であるためまっすぐに美しく作るため・固く固定するために様々な太さのものを使い分けています。

【規格】

行灯行列に出る行灯は全て土台と針金の縦・横・高さの長さの基準を合格しないなければなりません。実行委員会が3回の規格審査を行い、オーバーしているクラスには直してもらっています。



【テント】

現在のテントはごく最近に提供されたもので、全クラス同じテントです。支柱が金属のため、暴風で飛ばされる事も少なくなりました。

【悲劇～北高誌より】

行灯が壊されています。紙は貼っていないようなので解体時の写真ではないようですが… 写真からでは推測までしかできません。情報提供をお待ちしております。



【コーラの話】

第2回行灯祭でとあるクラスがコーラの蓋を作り、行灯行列に参加したそうです。結果、賞はもらえなかったものの、コカ・コーラ会社からコーラ4ダースをもらったそうです。

他の何らかの商品を作ったクラスは何かをもらったという情報はありませんでした。コカ・コーラだけなのでしょうか？

【10mの龍】

第1回行灯祭では全長10mの龍を作ったクラスがあったそうです。紙の代わりにビニールを使い、少し動くようにして行進したようです。道路交通法の規制が厳しくなったのはこの2年後からだそうです。



南東の風 風力2

【行燈ファイサー】

北高行灯が創始された年に事件が起こりました。行燈ファイサーに使う燃し木をとある実行委員が当時のJR○○線の枕木から取ってしまったのです。結果、行燈ファイサーは成功したようですが、JRは不通になってしまったそうです。

写真では組み木の中に枕木があるように見えます。南東の風、風力2と書いていることから風力によつては中止ということも考えられたのでしょうか？





制作 北海道札幌北高校
57th実行委員会 行灯パネル展

2年 常田 慧徳 細川 航平 山田 祥太

1年 大門世理奈 梨澤ウーレン 山下 麻綾

情報提供してくださった北高OBの方々